

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 8月 19日

派遣者氏名（専門分野）	津田雅之（文化表現論・比較文学）
-------------	------------------

派遣期間	2012年6月20日 ～ 2012年7月4日
------	------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
スペイン	アルマグロ、マドリッド	国立演劇博物館図書室、オルテガ財団、国立図書館

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

◇アルマグロの国立演劇博物館図書室 (Biblioteca del Museo Nacional del Teatro)

博物館1階の奥にある。研究者用の図書室であり、一般には利用できない。開架図書は自由に閲覧できる。夏期の開室時間は10:00~14:00。司書の方々は親切であり、どのような研究テーマをかかえているのか説明すればそのテーマの本を何冊も持ってきてくれる。

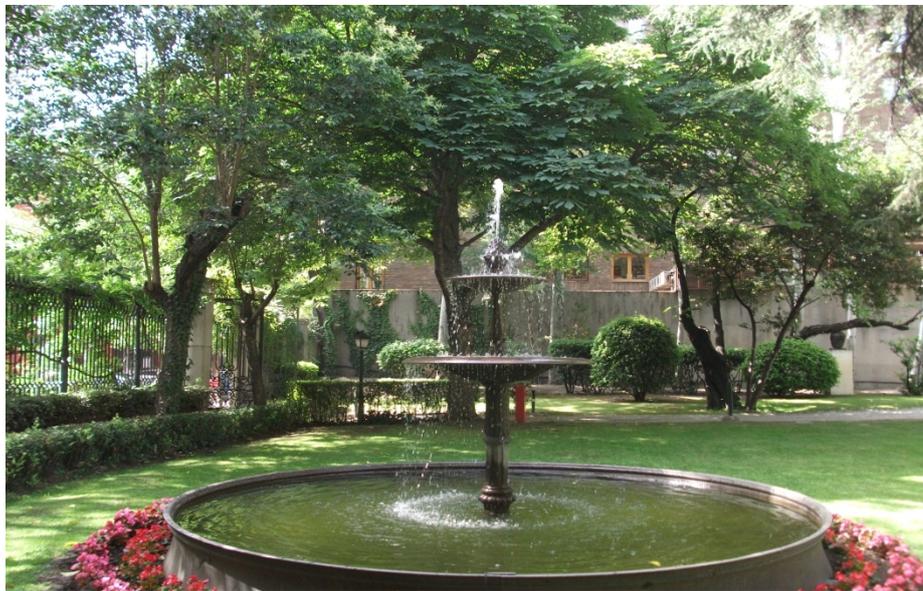
<必要書類>

- ・ 指導教員による推薦状（スペイン語のものでなくとも英語やフランス語のものでも可）
- ・ パスポート
- ・ 閲覧希望文献リスト（前もって知らせておいた方がいい）



◇マドリッドのオルテガ財団 (Fundación Ortega y Gasset)

基本的には誰でも利用できる。雑誌『西欧評論』のバックナンバーやオルテガの著書の世界各国(東欧やアジアも含む)での翻訳書やオルテガに関する研究書や学位論文がほとんど全て揃っている。オルテガ研究の雑誌 *Revista de Estudios Orteguianos* を出版しているところでもあり、派遣者には希望の号を無料で分けてくれた。オルテガ以外では、哲学関係や社会科学関係の蔵書も充実している。それらは開架図書であり、閲覧室で自由に読むことができる。コピーを頼むと担当の人が複写してくれる(料金は安い)。ただ、オルテガの書簡やオルテガの蔵書を閲覧するためには管理している *Jesús Sánchez Lambás* 氏の許可が必要。



◇マドリッドの国立図書館 (Biblioteca Nacional de España)

セキュリティチェックが厳しい。入口で利用証を作るときに、写真をその場で撮られる。利用証は一般用と研究者用に分かれており、研究者用は5年間利用可能。利用証の発行料は無料。閲覧者が所有する書物を閲覧室に持ち込むことはできない。

<必要書類>

- ・パスポート
- ・英文の在学証明書
- ・欧語で書かれた現住所を証明できる書類

